

# モーションキャプチャを用いた地域伝統芸能のデジタルコンテンツ制作に関する研究

1. 目的: 手指の細かい動きをデジタル化する技術の開発により、伝統芸能等のデジタルコンテンツ化を図る

2. 研究内容・期待される成果: 従来は不可能であった手踊りのコンテンツ化や伝統的工芸技能の保存が可能

### 研究課題


- ・磁気センサとトランスミッタの小型化
- ・磁気センサの装着方法と配置の最適化
- ・秋田3大盆踊りの3次元デジタル舞踊符の開発
- ・3次元デジタル舞踊符をWeb上で検索可能なソフトウェアの開発

### 新しい技術開発



① 手指のモーションキャプチャの技術開発

3次元動作データのメタデータ化  
→② 3次元デジタル舞踊符の技術開発



MK-MH わたり拍子始め  
(193~270フレーム)

秋田大学, 秋田経済法科大学,  
秋田県工業技術センタ

### 未開拓の地域伝統芸能のデジタルコンテンツ



重要無形民俗文化財

- ・西馬音内盆踊り (羽後町)

伝統的工芸技能

- ・川連漆器 (稲川町)
- ・樺細工 (角館町)

+

### 3. 研究成果の社会的意義・社会への波及効果

- ・従来不可能だった手踊りのデジタルコンテンツ化  
→保存と伝承
- ・消失の危機にある国指定重要無形民俗文化財の保存と国内外への情報発信  
→地域社会の活性化
- ・手のモーションキャプチャ技術はCG制作, 手術シミュレータ等の医療教育の分野にも利用可能  
→波及効果大
- ・3次元デジタル舞踊符の開発  
→3次元動作情報の汎用的記述法の提案